

---

# 清掃人。

SEI  
SOU  
BITO.

---

理容師

伊藤慎吾さん  
(26)

Vol.001

---



撮影場所: LAID BACK by Barber Shop (東京都台東区)



## レイドバックする時間

東京下町、上野近く。

寺と墓地が大半を占める地域の一角で

シンゴは育った。

筆者が初めて出会った頃、彼はまだ小学生。

小さな家や木造アパート、猫の額の公園、

鉢植えが密集する狭い路地宇宙を

シンゴは大勢の仲間たちと駆け巡っていた。

祖父が清掃の仕事をはじめたころには

アルバイト代欲しさもあって一緒について回り、

近所のマンション共用部の掃除を手伝っていた。

祖母は町内で知らぬ者のいない事情通で、

母は小さな居酒屋を営み、

以前は二人で美容室をやっていた。

中学、高校に進むとシンゴも人並みに

バイクや夜遊びなど不良の真似事をしたが、

もともと手先が器用で

人の髪を整えてあげることが好きだったこともあり、

怠惰な日々は早々に切り上げた。そして理容師になった。

元来が一途な性格だ。

修行中は理容室の2階に住み込み、

やがてパリの世界大会で準優勝もした。

バリカンを駆使してヘアスタイルをデザインする

彼の技術愛好者が増え、二十代の半ばを越えて独立。

湯島に「LAID BACK」と名付けた一軒のバーバーを開いた。

短時間製造で髪を切るのではなく、

十分な時間のなかで髪を整えながら寛いでもらいたい。

そんな時間を来店者にあげたいと思った。

一人で髪を切り、一人で掃除をし、一人で店を切り盛りする。

そのどれもが、彼の愛する人生。

Photo Yoshihiro Tatsuki

Text Ichiro Uchino

写真 = 立木義浩

文 = 内野一郎

SEI 清掃人。  
SOU  
BITO.

連載

# 食は巡る!

SHOKU の MEGURU!

SHOKU の MEGURU!

田中 邦和



## 1 食目

### 生命力に満ちあふれた鹿肉ジビエ

ここに一枚の革がある。

セーム革といい、鹿の皮を油で鞣したスウェード製品で、汚れが簡単に拭きとれ傷もつきにくく、宝飾品やカメラなど精密機器を拭きあげるのにも最適な物である。

私はサククスなど木管楽器の演奏がメインの活動の音楽家である。

サククスは、ベルギー人のアドルフ・サククスによって19世紀末に発明されたもので、産業革命後の当時最新鋭のメカニズムを備えている。演奏をすると当然楽器は汚れ、手入れが必要になる。呼気に含まれる水分が結露し音孔から水滴となり管体に付着するし、複雑なキーシステムには油や埃が溜まりやすい。楽器を始めた高校生の頃からセーム革を使っているが、これが実に鹿との最初の出会。一番新しいものはい最近、広島の 獵師のレザーショップから購入したものである。これが流石天然物で非常にキメが細かくしっとりした手触り、指紋や油汚れが面白いくらい綺麗に取れて感動的。お安くはなかったが、実に良い買い物をした。

思い返せば所謂ジビエ、鹿肉等との出会いはセーム革との出会いに遅れる事約10年。近所に有った季節になると北海道で獵をする料理人の店だった。初めて鹿のロースト肉を口に含んだ時の美味しさは今でも鮮明な記憶、引



き締まって味わいの濃い質感たっぷりの赤身肉は、以来大好物の一つとなった。

音楽を生業にしていると、演奏旅行がもはや日常になる。もちろん遊びでは無いので演奏が第一のミッションだが、御当地の名物や名酒を頂けるのは我々の特権だ。しかしこれも各地で出会う人々とのご縁が時を経て深まり、お互いの信頼関係が出来ているからこそ。数々の深い酒宴を経て、今ではオフの日には釣りや花火大会に連れて行ってもらったり、自家栽培の農作物を頂いたり、鹿や猪を振舞われもするのだ。このところはジビエ肉にご縁があるのか自宅に居る折も、新潟は山古志村から届いた猪肉で牡丹鍋をやったり、猟師&料理人の方のお店で鹿ローストや熊鍋を頂いたりしている。これらの肉は自然の物を食べ山野を駆け巡って育ったおかげで生命力に満ち溢れていて、畜肉とはまた別物の美味しさがある。もちろん種によって味わいが違いそれが魅力なのだが、同種でも「何を食べているかの個体差」が大きいのは驚くほどである。

そういえば、先日の猪肉の折は「いまイノシシ解体中、明日受け取れるなら生で送りますよ!」と途中の様子が写メで送られてきた。正直見た瞬間は何とも言えない緊張感を覚えたが、食するという事は尊い命に係わると言う事だと考えを正して、その分感謝して美味しくいただくと思ったのだった。実際、生で届いた猪肉はそれはそれは美味しかった。スペアリブは骨ごと塩茹でが絶品、塊肉で作ったトマト煮は濃厚なラグーでパスタと頂いた。

おっと、食べてばかりじゃなくて、しっかりと仕事にも精進なくては。このパワーをより良い演奏の原動力にして、さらに広い世間とのご縁ができますように。

「都内某レストランでの鹿肉のロースト。一口頬張り飲み込む毎に身体に直にエネルギーが注入されるよう。ブランド肉も勿論美味しいけれども、ジビエ肉の燃えたぎるパワーには全く敵わない!」



田中邦和 Kunikazu Tanaka

ジャズ、ポップスから即興音楽まで常に一線で活躍、毎年のフジロックへの参加を始め、各種舞台や、レコーディングへの参加多数。メインのサックスの他にフルートや東欧や中東の民族楽器にも興味を広げ表現の世界を広げている。生来の食いしん坊が高じて、ここ数年「dancyu」等に寄稿もしている。

鹿の皮を油で  
鞣したセーム革。



Rprojectは、Reduce（リデュース）、Reuse（リユース）、Recycle（リサイクル）の3Rを考えながら、メンテナブルな環境・清潔・清掃のデザインと開発を考えるプロジェクトです。

# Rproject → !

Text Ichiro Uchino Photo Hiharu Takagi



Rproject → !

## 高級ホテルが バイオマスボトルの 液体ハンドソープに 切り替えた理由

ブライダルの仕事が好きでホテルの世界に入り、婚礼コンシェルジュとしてさまざまなお客様の結婚式のお手伝いをしてきたと語る永野さん。購買の仕事に異動してからも、非日常的な特別感に満ちたホテルという場所が大好きとのこと。

ロイヤルパークホテルズアンドリゾーツ  
購買部 マネージャー 永野 美佳 さん

「100%リサイクルペットボトルのミネラルウォーターに切り替えるまで、実に2年かかりました」と、ロイヤルパークホテルズアンドリゾーツで購買部マネージャーを務める永野美佳さんは話す。

「世の中では当たり前のことが、なぜホテルではできないのか随分悩みました。理由はやはりコストです。ホテルの部屋数は4千室を越えますので、例えば10円単価が上がってしまうと膨大な金額になります。けれども親会社である三菱地所の環境に対する取組みや、我々ホテルとし

ての社会的使命があり、2021年6月に公布された“プラスチックに係る資源循環の促進等に関する法律”にも応じられるよう決断しました」

永野さんが次に手がけたのが、客室用フェイスアンドハンドソープ。これまでロイヤルパークホテルズで使用していたものは容器がプラスチック製で、経年劣化をするため定期的に交換廃棄をしていた。そこにも課題を感じていた永野さんは、少しでもプラスチック廃棄量を削減できないかと、複数の協力会社に依頼。しかし大手企業や化粧品

三菱地所グループのロイヤルパークホテルズアンドリゾーツが展開するプレミアム宿泊主体型ホテル「THEシリーズ」。“象徴的な”ブランドラインとして東京・汐留に所在する、ザ ロイヤルパークホテル アイコニック 東京汐留。〒105-8333 東京都港区東新橋1-6-3/TEL. 03-6253-1111(代表)

THE ROYAL PARK HOTEL  
ICONIC TOKYO SHIODOME



写真の形状と大きさに落ち着くまでは、リンレイの担当者と何度もバイオマスボトルの試作を繰り返したと購買部の永野さんは語る。「手に持って、ちょうど良いサイズに仕上がりました。ソープは少量でも泡立ちが良く、スッキリした爽やかなシトラスの香りが抵抗なく使えたとお客様さまに大変ご好評いただいております」

## ROYAL PARK HOTELS Face & Hand Soap

メーカーなどからは、なかなか満足のいく回答が得られなかった。

その中で唯一、リンレイによる提案が「サトウキビ由来の植物原料96%使用のバイオマス」でボトル製作できるというもの。またハイジェニック製品に定評ある同社の液体ソープの洗浄効果の高さと、保湿成分のヒアルロン酸配合で肌に優しいという点もホテルスタッフたちに高く評価された。その結果リンレイの提案が採用され、バイオマス認証マークとロイヤルパークホテルズのロゴマーク入りの

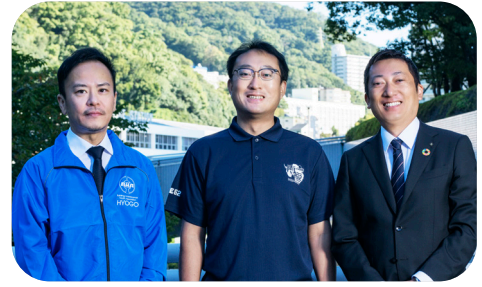
オリジナル製品が作られることになった。

「コロナ以降今まで以上に、そこで過ごす有意義な時間と環境をセットで考える時代になったと思います。私が目指しているのは、当たり前のことを、当たり前のできるホテルです。今回はバイオマスボトルに取り組みましたが、今後も世の中の流れを見ながらReduce(リデュース)、Reuse(リユース)、Recycle(リサイクル)の3Rを考え、リサイクルに移行できるものは移行していくことがベストだと思っています」。



# ちょっと *Chotto Dialogue* ダイアログ

Text Sou Shibano Photo Hiharu Takagi



## 創意工夫とビルメン

ビルメンテナンス企業の若手リーダー二人と、南極地域観測隊に参加した伊達さんに、「新時代のメンテナンスビジネス」というテーマで自由に語り合ってもらいました！

### エネルギーや資源への見方が変わりました。(伊達)



使えるリソースがきわめて少ない基地の生活では、節電や節水が欠かせません。しかも、隊員が31人しかいないので、一人一人の努力が数値として如実に表れます。省エネや環境問題について考えたときに、この「実感」が大きなポイントになると思います。自分がやった分の成果を感じられるシステムが構築できるとよいのですが。



「省エネを  
成功させる  
カギは……」



「ビルメンの  
重要性を改めて  
実感！」

### SDGsの達成に向け、ビルメンの責任は大きい。(横山)

「みんなで世界をより良くする」というSDGsの精神は、多くの方が利用する空間の安全性・快適性を維持する」というビルメンテナンスの本質と通じるところがあるのではないのでしょうか。労働人口の減少をはじめ、業界にとっては厳しい時代ですが、持続可能な社会の実現のために、積極的に貢献していかなければならないと思います。



### 最新テクノロジーを活用する姿勢も大切。(竹辻)

社会が変化し続ける中で、ビルメンテナンスビジネス全体が大きな転機を迎えています。ビルメンも時代の変化に合わせて自らの業務を見直す必要があるでしょう。場合によっては、最新テクノロジーの活用によって解決できる課題も少なくないのでは？ DX化によって業務効率を向上したり、IoTで設備を管理したり、ドローンによる警備や建物の劣化診断、スマートグラスを使った遠隔操作など…大きな可能性を感じます。





伊達元成さん  
第62次南極地域観測隊  
越冬隊 隊員



竹辻 厚さん  
日之出管財 取締役  
／兵庫ビル  
メンテナンス協会  
青年部会長



横山昌司さん  
三木美研舎  
代表取締役社長



「現場の声を  
くみ上げる  
仕組みも大切」



### ときには、発注者に逆提案してみてもは。(伊達)

昭和基地では、設備面等で改善してほしいことを、要望することもありました。ビルメンの世界でも、発注者であるビルオーナーに対して、「メンテナンス性の高い建材に変更しませんか」などと提案できるとよいのでは…。建物をより良くするという共通の目的のために、双方が自由に意見を交わせる風通しのよい関係が構築できると理想的です。

### 古いルールの見直しも必要。(竹辻)

SDGsが重視される昨今では、製品やサービスの品質だけでなく、社会のためになるサービスの価値が高いと見なされます。正直に言って、過度な価格競争に陥っている今のビルメン業界は、このSDGsの考え方に合わなくなっていると感じます。この風潮を正すには、官公物件における競争入札の枠組みなど、ルール自体を見直す必要があるでしょう。



「価値あるサービスを提供できる  
環境整備を」



「ビルメンが  
活躍する場が  
広がるかも…」

### 私たちにとって、今こそビジネスチャンス。(横山)

循環型経済を実現するために、維持や管理の重要性はますます高まるはず。これまでのビルメンは社会を裏で支える黒子のような存在でした。今後は、メンテナンスを切り口にした、新しいビジネスチャンスをつかむために、もっと積極的に前に出なければならないでしょう。



極限世界・南極で創意工夫の大切さを学んできた、南極地域観測隊員の伊達さん。その貴重な体験談に触発されて、ビルメン業界の若きリーダーたちも新しい視点を得たようです。





## 「みんなにやさしいトイレ会議」実行委員会 実行委員長 竹中晴美 Harumi Takenaka

多様性の時代といわれる今、「トイレに女性の視点」という言葉は、逆に問題視されるかもしれない。しかし私がトイレにハマるきっかけとなった35年前、女性たちにとって公共トイレは切羽詰まっても、できれば避けて通りたい3K(暗い、怖い、汚い)的存在で、使い勝手以前の問題。そんな3Kトイレの時代に女性が主役のまち歩きを企画、「女性が主役のまち歩きにはトイレは必須」と今更ながら気が付いた。結局、半年以上かけて当時のスタッフで3K的公共トイレを実態調査、行政に書面で伝える。行政にとっては、青天の霹靂に近かったらしい。当時の市長が、担当者にゲキを飛ばした。「今すぐ、公衆トイレの実態を見て来なさい!」これが公衆トイレ改修の始まりになったのは事実。それから10年後「竹中さん!最近、トイレは良くなったでしょう?」当時の担当課は、ほぼ男性。使い勝手は相変わらず以前のままで、女性の視点は入っていない。

例えばトイレのドア裏面のフックは、高い!高すぎる!女性たちはトイレに入る時も荷物を持っている。その荷物置きがない。高いフックに背伸びして踏ん張って掛ける。切羽詰まっている時に腹が立つ。重たいものは掛けられないので、ショルダーバッグは斜め掛け。バッグをお腹に挟んで用を足す。笑い事ではなく、情けなくなるので使用しない。また当時の汚物入れは蓋付きの小さな三角形。手で蓋を取る、臭いもする、不潔。小さいので中身がいつもあふれて…こんな状況を知らないまま、改修は進みつつ、確かに見かけは清潔で快適にはなった。しかし女性たちにとっての使い勝手は何も変わらない。

### ひとりで熱くなっても進化しない。使い勝手は、変わらない。

トイレのドアのフックは何故高いのか?実は、男性たちは個室で用を足すとき、必ず上着を脱ぐそうだ。その衣服が床に付かないように高く設置。女性たちは上着を脱ぐ?!はずもない…と絶句したことを覚えている。女性の視点の提案は、こんな小さなことから始まった。行政の担当に伝えると「竹中さんはトイレ好きだからね。他の人はあまり感じてないのでは?」この一言も、背中をおしてくれたかもしれない。ひとりで熱くなっても、ひとりの意見にすぎない。組織化しよう!行政と手を組もう、専門家(トイレメーカー)にもお願いしよう。14年前、ボランティア活動団体「みんなにやさしいトイレ会議」実行委員会を立ち上げる。

OFFICE TAC代表、フリーランスコピーライター。「みんなにやさしいトイレ会議」実行委員会委員、一般社団法人長崎ウーマンズ・ウォークラリー代表理事、エフエム長崎番組審議委員会委員、著書に「長崎のトイレ文化」まあだだよ

### 使う人にやさしい 7つの基本の



私たちが提案する使い勝手の基本の「き」は、決して難しいことではない。ドアフックの高さ、洗面所のフック、出口付近の全身鏡など、使えば女性の思いがわかる。



きほん ① KIHON

#### 洗面台にバッグかけ

鏡の下に置いたバッグが落ちて、自動水栓に反応。びしょ濡れになった経験多々。



きほん ② KIHON

#### 男子トイレにもベビーキープ

以前パパたちは洋便器の蓋の上でおむつ替えしたらしい。



きほん ③ KIHON

#### ペーパーホルダーは左右に

突然ケガをしたときや身体の不自由な方にとっては両側ホルダー機能は大事。



## 2 段式ロックで ママたちの不安 を解消

子どもは手が届くと鍵を外すことも。2 段式ロックは外からも確認できる(優先トイレにも採用)

### POINT 1

## 長崎市「新庁舎」でカタチになった みんなにやさしい使い勝手の機能



## フックは便座の 横にも設置

今回、自己導尿患者(CIC)のために「前広便座」も採用。ベビーキープの横にもフックを取り付けた



## 多目的トイレの名称を 優先トイレに

ここしか使えない方々を優先的という考えから、あえて男性、女性のサインは使っていない。

### POINT 2

## 使う側(市民)、設置する側(行政)、専門家 大事なのは、③つの視点で取り組むこと

行政と手を組み、3つの視点で提案を重ねて14年目。14ヵ所目として、2023年1月に完成した長崎市「新庁舎」の新築トイレに関わった。設計事務所を交えて建物パースだけで会議。工事現場でトイレの入口の角度やドア、洗面所の明るさや使い勝手などを調査。ある時は、別の現場の仮設トイレで便座の高さ、ホルダーの高さ、空間の広さなどを確認し、結果を再度話し合った。提案の全てがカタチになったわけではないが、使う人にやさしい使い勝手の機能がさり気なく細部に取り入れられている。今更ではあるが、使う人の視点を入れると、トイレは格段に使いやすくなることを実感。

使い勝手の「基本マニュアル」は、現在も少しずつ進化している。行政の担当者が異動してもマニュアルが必ず引き継がれているのが嬉しい。トイレは、都市の文化を表す。トイレは、まちづくり、そしておもてなしの基本である。まだ課題があるが、3つの視点でトイレを取り組んできたことが、みんなに評価され継続というカタチになったのだと思う。



現地調査で足りない事や不便な点を提案



### きほん ④ KIHON

## 緊急ブザーは上下2段

急に倒れたときなどは緊急ブザーに届かないことも。そんな時のために。



### きほん ⑤ KIHON

## フックは2段階

荷物置きが少ない多機能トイレ。高さ違いのフックと小さなベンチはとても便利。



### きほん ⑥ KIHON

## 女性にとって姿見は必須

スカートを巻き込まれて恥ずかしい思いをしないよう、出る前に後ろ姿をチェック。



### きほん ⑦ KIHON

## 男子トイレに衝立の工夫

トイレ内が丸見えにならないよう、目隠しを実現。



Text Sayuri Tsuji  
Photo Hiharu Takagi

## Profile

やまぐち・とも Tomo Yamaguchi

1980年「つのだ☆ひろとJAP SGAP'S」でデビュー。その後フリーの打楽器奏者として、石川さゆりなど数々のアーティストの楽曲に参加。95年の音楽劇「銀河鉄道の夜」をきっかけに、廃品からさまざまなオリジナル楽器を作るようになった。2017年には「越後妻有アートトリエンナーレ」の「絵本と木の実の美術館」で音あそびをテーマにした楽器を展示。現在に至るまで、オリジナル廃品楽器を使ったパフォーマンスやワークショップを展開している。<https://tomooffice.jp/artists/yamaguchi-tomo/>

楽器ではないけれど、靴だってオリジナル。チューブが付いてカッコイイ!

ジャンクドラムと名付けられたドラムセットには、一斗缶やウォーターサーバーが使われている。「普通の太鼓よりぜんぜんおもしろいですよ!」



「TOMO OFFICE」と書かれた扉を開けると、思わず「わーっ」と声が出た。天井からはコルクやチューブ、ペットボトルがぶら下がり、床やテーブルにはドラム缶や一斗缶を使った不思議なものが所狭しと並んでいる。出迎えてくれた山口ともさんは、スーツ姿も決まったダンディな出で立ちながら、くるとカールしたもみあげにチョビ髭など、すべてがオリジナルだ。そんな山口さんの肩書きは日本廃品打楽器協会会長。そう、ここにあるのはすべて廃品を

地球上のすべてのものには **音** がある

使った楽器なのだ。

そもそも山口さんはプロの打楽器奏者で、数々のアーティストのツアーやレコーディングをサポートしてきた。そんな山口さんが廃品から楽器を作ることになったきっかけは、パーカッションプレイヤーとして参加した1995年の音楽劇「銀河鉄道の夜」。

「独特の雰囲気を持つ音楽劇には『え! この音なに?』と感じるような音が合うんじゃないかと思いました。そこで自分で作った楽器を持って行ったらすごく喜ばれたんです」

その時、山口さんが作ったのが、缶の底を長いバネでつないだような楽器だ。

「昔、紙コップで糸電話って作ったじゃないですか。糸の

代わりにバネをつけてみたら、おもしろい音になった。劇の世界観も広がり、自分自身も楽しくなって、そこからどっぷりハマっていったという感じです」

この「楽しい、おもしろい」という気持ちが、山口さんの廃品から楽器を作る原点だ。

「エコロジーとか環境を考えると廃品を使っているわけではないんです。楽しくて好きに作っていたら、目黒区からゴミの歌を依頼されたり、NHKからSDGsのラジオ番組への出演依頼がきた。あ、自分がやっていることってこういうことなんだと後から気づいた感じです。今も、五感を研ぎ澄ませてみたら周りのものからいろいろな音が見つけて楽しいよということを伝えたくてやっています。ガラクタだと思っていたのが楽器になった。そのおもしろさ、楽しさのタネを、世界中に蒔いていきたいですね」。



コロナ撲滅の曲を依頼され、こんなものも作っちゃいました！

# ゴミじゃないよ 楽器だよ



フィルムケースに穴を開けて、ブンブン振り回せば、あら不思議。鳥の声？ それとも猿の鳴き声？

木魚をお寺で使うだけではもったいない。実際に叩いてみると、一つ一つ音が違うんです。



山口さんが廃品楽器を作るきっかけとなった「銀河鉄道の夜」で生み出された楽器。長いバネをスティックで挟んでこすると、宇宙空間のような不思議な音が!?

缶にチューブ、バネを組み合わせたもの。トップには、山口さんが率いる廃品打楽器グループ「ティコボ」の写真が貼られている。さて、いったいどんな音が???

赤ちゃんが使うガラガラの中身を取り出して楽器に。振ってみると、まさにガラガラの音!



果実を保護するのに使うプラスチックをクシャクシャとしてみると、効果音のような音が。下はお鍋と発泡スチロールを組み合わせた楽器。叩いてみると……。

ともとの、ガラクタ音楽会と

## ワークショップ



ワークショップを開くと、普段音楽にはそれほど興味を示さなかった子どもたちが、みんな目を輝かせ、飽きることなく先を争って楽器を楽しんでいる様子が見られる。「学校の先生から『あの子のあんなに楽しそうな顔は見たことがない』とよく言われます。廃品の打楽器ってどう叩いてもいい、正解のない楽器。自由で力を持っているんです」と山口さん。

# マンションという 小さな街の 可能性

Illustration Rica Hayakawa  
Text Yasuo Matsumoto



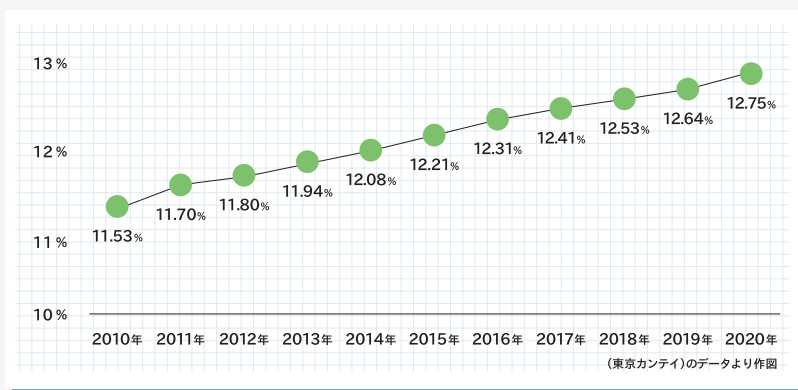
マンションは一つの土地を大勢の人々で共同利用し、建物空間を区分所有する「小さな街」だ。このシェア空間に暮らす人々のコミュニティの在り方が、日本の共生社会が進化していく上で重要な役割を果たしていくことになるのかもしれない。

マンションにはさまざまな課題が存在している。居住者の高齢化はもとより、建物の老朽化、管理組合運営の担い手不足、修繕積立金不足、適切な修繕工事が行えないことによる建物の劣化進行など、まるで超高齢化日本社会の縮図そのものようだ。

去る2月21日、一般社団法人マンション管理業協会主催による「マンション イノベーション フォーラム 2022」が開催された。このイベントでは管理組合や管理会社によるマンションマネジメント手法改善などの取り組み事例を表彰する「マンション・バリューアップ・ア

ワード2022」の最終プレゼンテーション審査や、気象予報士の天達武史さんによる特別講演、パネルディスカッションなどが行われ、グランプリには長谷工コミュニティ社員の「ご近所見守り隊の設立～世代間の垣根を超えたマンション内コミュニティ～」が選ばれた。

IT・DX推進によるマンション管理組合の活性化や、高校生をはじめとした若者世代のマンションコミュニティ参画施策や話題も多く見られ、マンションという小社会が次世代の重要なコミュニケーションの場であり、高齢者を若者が守る世代融合の視点を持った行動の芽が生まれていることもわかった。異なる者たちが共存する共生社会の新たなモデルづくりを考えていく上で、多様な背景を持った人々が集まる集合住宅「マンション」は、優れた実証実験の場になる可能性を秘めている。



## マンション化率の推移 (全国)

全国の世帯数に占める分譲マンション戸数の割合を示す「マンション化率」は、前年から0.08ポイント拡大して2022年は12.90%になった。およそ7.8世帯に1世帯がマンション住まいということになる。東京都の2022年マンション化率は28.00%にものぼる。

# 犯罪被害から子どもを守る

Protect Children

Text Sou Shibano

警視庁の公開データによると、13歳未満の子どもが被害者である犯罪の件数は近年、減少傾向にある。しかし一方で、略取誘拐などの被害件数は、ほぼ横ばいのまま減少していない。子どもを犯罪被害から遠ざけるためには、日頃から犯罪に巻き込まれにくい行動を取る必要がある。

実際の被害事例を見ると、事件が発生した場所や状況に共通点が多いことが分かる。その傾向から、子どもたちを犯罪から守るためのポイントが見えてくる。

## 1 人目の少ない場所を避ける

不審者が待ち伏せしやすい、人通りの少ない路上や、物かげのある公園や駐車場での被害が多い。

## 2 下校の時間帯が要注意

多くの犯罪被害が平日の14～18時ごろに集中。学校から下校する際は、友だちといっしょに帰るか、家族が迎えに行くのがよい。

## 3 一人で行動できるようになる小学生が特に危険

令和2年のデータでは、6～12歳の子どもの犯罪被害件数は、0～5歳までと比べて10倍以上。一人で登下校するようになるこの時期は特に気をつけたい。

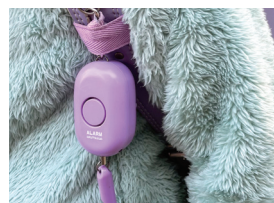
低年齢の子どもの場合、本人の防犯意識を高めるにも限界がある。日頃から家族で話し合い、右図のようなシンプルなルールを決めておきたい。

## ルール

- 暗くなる前に家に帰る
- 家族以外の人についていかない  
(知り合いであっても)
- 出かける際は必ず  
「どこで、何をするか」を伝える
- 防犯ブザーやホイッスルを常に  
携帯する



## おすすめ防犯グッズ



上：周囲に危険を知らせる防犯ブザー。目立つ位置に付けて犯罪抑止の効果も。

左：GPS位置情報端末。スマホアプリで子どもの現在位置を確認できる

## 知ってなアカン! 防犯動画

YouTube



### 強い私を作る、それはタフミーだ

幼稚園・小学生・中学生及び小学校の先生方や保護者・地域見守り隊等の方々を対象にした、「防犯教育」です。保護者、PTA、学校などからの要請を受けて幼稚園や小・中学校などに出向き、護身術を伝授しています。



タフミー 検索

わかりやすい!  
動画はこちら!



詳しくはこちらを  
ご覧ください  
<https://tuffme.jp>



Supported by



# ＼ インフラテクコンで街を変える！ / “KOSEN”の挑戦！



Text Taku Kazama

若い人のインフラへの関心、また、就職先としてのインフラ企業への注目を高めることを目的に生まれた「インフラマネジメントテクノロジーコンテスト」。鉄道、道路、電気、ガス、上下水道、通信等、すべての公共インフラに関する社会課題を解決すべく、全国の高等専門学校生たちがアイデアと技術を競い合うというものだ。

なぜ、高専生が対象なのか？ 専門技術を学んでいるというのはもちろんだが、現在、さまざまな課題を抱えるインフラ企業自身が自らの課題をなかなか打破できない硬直した状況であることも大きな理由。「大人はどうしても現状を改善・改良していくという延長線上でものごとを考えてしまう。状況を打破するためには、若い世代の全く異なる角度からの発想力が必要なんです」と語るのは、インフラテクコン実行委員会PR部会長の奥田早希子さん。高専生は

発想が柔軟で、それぞれの地元が抱える問題にしっかりと目を向けていることにも多くの企業が注目しているという。

3回目となる2022年は、全国の高専から19チームが参加。最終審査を経て、12月に受賞チームが決定した。2月に行われた表彰式には協賛企業が多数参加。インフラの発展に果敢に挑む高専生へエールを送った。「社会のインフラに関わる仕事は本当に大事。しっかりメンテナンスすればまだまだ現役で使える。そのためにも新しい技術を取り入れたい。日本のインフラの維持に貢献している方々を支えてほしい」「提案も年々レベルが上がっている」など柔軟な発想力を評価した。企業と高専生が直接交流できる場をつくり続けることで、プレゼン力も鍛えられているようだ。この場でスキルを身に付けた卒業生たちの今後の活躍が期待される。

## 2022年 最終審査結果

### ◎グランプリ

#### 砂防with折紙(福井高専)

##### 日本最古の透過型砂防堰堤の発見と新しい遊水池の計画手法の提案

福井県福井市の一乗谷は戦国時代の城下町。上城戸(土塁)は敵からの襲来を防ぐため、城壁として建造された。一乗谷の3Dモデルと流体数値シミュレーションCFDを用いることで、上城戸に隠された洪水対策の効果と、上城戸が日本最古の透過型砂防ダムであることを明らかにする。



透過型砂防ダムと遊水池の組み合わせの重要性和新たな地下貯水システムを提案。地下貯水槽の中詰め材には折紙の技法を用いるなど、その独創的な発想も評価された。



### ◎準グランプリ

#### チームぼんぼんぼんきち2.0(旭川高専)

##### 上下水道3Dプラットフォームから始める「スマート・ライフライン」

紙図面やデジタル図面からの3D上下水道管の作成機能、3D上下水道管の表示機能、現場における3D上下水道管の登録機能から構成される「上下水道3Dプラットフォーム」の実現と、それによって可能になる地中インフラを一元管理できる「スマート・ライフライン」を提案した。



「スマート・ライフライン」が実現すると、冬場に積雪の影響で場所がわからなくなった基準点や止水栓を見つけ出すことが容易になる。



## CSR活動としての役割も！

インフラテクコンでは協賛企業も募集中だ。企業や団体のCSR活動の一環として、また、新たな技術の発掘やリクルートにつながる機会として、高専生と接点を持つこの場を活用し、インフラマネジメントの魅力を広げ、伝えている。



## メンテナンス資格ガイド

### 冷媒フロン類取扱技術者

01

冷凍空調を熟知し、冷媒フロンを取り扱う  
プロフェッショナルを認定する民間資格

オゾン層の保護、地球温暖化防止などの課題解決に向けて、抑制が求められるフロン類。冷媒フロン類取扱技術者は、冷媒を漏らさないための予防保全技術、機器の定期点検・保守サービス等における漏えい点検技術、また、これらをふまえた充填作業と効率的で適正な回収作業に関する十分な知識を持つ技術者を認定する民間資格。平成26年度より、日設連認定の「漏えい点検資格者」を「第一種冷媒フロン類取扱技術者」に移行し、これに準ずる資格を「第二種冷媒フロン類取扱技術者」として新設。1日間の講習と講習後に試験を実施している。



第一種/日本冷凍空調設備工業連合会  
第二種/日本冷媒環境保全機構  
[https://www.jreco.or.jp/shikaku\\_gaiyo.html](https://www.jreco.or.jp/shikaku_gaiyo.html)

### 環境社会検定試験®(eco検定)

02

複雑・多様化する環境問題を  
体系的に学べる環境教育の入門編

持続可能な社会の実現に向け、環境に関する幅広い知識を身につけ、積極的に取り組む人づくりを目的に創設された「eco検定」。すべてのビジネスパーソンの必修科目として、得た知識をビジネスや対外的なアピールに役立てることができる。事例として、社内教育ツールとして活用し、ISO14001で求められる内部監査員を認定するための客観的な判断基準の一つとしている企業もあるという。2006年に開始して以降、約35万人のエコピープル(合格者)を輩出\*。環境教育の入門編として多様な業種・職種の方々が受験している。

※2022年12月現在



東京商工会議所  
information <https://kentei.tokyo-cci.or.jp>

環境社会検定試験®(eco検定)は東京商工会議所の登録商標です

### 東大データサイエンススクール

03

AIやデータの活用を担える人材を育てる  
さまざまなデータ活用講座を開設

コスト削減や製品価値の向上、戦略立案の精度向上、新規ビジネスの創出など、さまざまな場面で大きな成果を上げているAIやデータの活用。それらを本格的に担える人材育成を目的としているのが、東大データサイエンススクールだ。データ処理を担当する専門職の養成ほか、経営者・マネジャー向けコースやAI導入の企画推進担当者向けのコースなど、目的別に学ぶことができる。東大で構築されたカリキュラムを使い、講義は第一線で活躍する東大の講師陣が担当。数学に不安がある人や復習したい人は、事前に数学講座を受講することもできる。



東京大学エクステンション  
information <https://www.utokyo-ext.co.jp>

### マンション維持修繕技術者

04

マンションの管理業界内における  
修繕のスペシャリストを認定

マンション(区分所有建物)の維持・修繕について、一定水準の知識と技術を有していることを審査・認定する民間資格。マンション建物と設備の維持保全に関する知識と技術に加え、対応力の向上を図ることで円滑な共同居住のための社会的な要請に応える目的がある。試験に合格して登録することで「マンション維持修繕技術者」と名乗れるが、合格率は毎年28%前後と軟化傾向にある。受験には国家資格の保有や実務経験などの一定の要件があり、受験資格を得る一つの手段として、全2日間のマンション維持修繕技術専門課程研修等も行っている。



マンション管理業協会  
information <http://www.kanrikyo.or.jp/iji/index.html>

### GX実現に向けた取り組み

として環境省が

「脱炭素アドバイザー資格制度」

のガイドラインを検討中

日本全体のGHG排出量のうち1割~2割弱を占めているのが中小企業だが、その多くはカーボンニュートラルについて具体的な方策を検討するまでには至っていない。そこで環境省では現在、地域金融機関の営業職員等が中小企業等の脱炭素化に対する支援を行うための「脱炭素アドバイザー資格制度認定ガイドライン」(仮称)の検討会を行っている。試験合格者は、環境省認定の「脱炭素アドバイザー」(仮称)を名乗ることができ、一般事業法人等へGHG排出量計測や脱炭素化のアドバイス、関連した融資等を行うことができるスキームを想定している。

※環境省:産業のGXに向けた資金供給の在り方に関する研究会施策パッケージ/脱炭素アドバイザー資格制度の認定にかかるガイドライン検討会第2回検討会資料より ※情報は2023年3月現在

## TOPIC